

防災学習Point 01



東日本大震災から、10年も経ったんだね。よし、防災の日(9月1日)も近づいてきたし、今年の防災会議は「地震に備える」をテーマに話し合おう。

心ちゃんは、まだ小さかったから東日本大震災は覚えていないよね。



うん、覚えていないけど学校でお話を聞いたり、テレビで見たことがあるよ。それと、最近の大きな地震もニュースで見知っているよ。



最近だと、平成28年4月の熊本地震と、平成30年9月の北海道胆振東部地震が震度7を観測して大きな被害だったわ。



そうだね、震度7は観測設定上の最大震度だから、大きな被害になるね。震度7は、平成7年1月の阪神・淡路大震災が初めてで、今までに6回観測されているんだよ。この他にも大きな地震が全国各地で発生していて、日本は世界でも有数の地震大国なんだ。

大地震はいつ起きても不思議ではない

日本は世界有数の地震大国です。近い将来、必ず大規模地震が発生すると考えて備えましょう。

震度7が観測された大地震

平成7年1月17日

兵庫県南部地震

(阪神・淡路大震災)

平成16年10月23日

新潟県中越地震

平成23年3月11日

東北地方太平洋沖地震

(東日本大震災)

平成28年4月14日

熊本地震(前震)

平成28年4月16日

熊本地震(本震)

平成30年9月6日

北海道胆振東部地震



防災学習Point 02



地震の犠牲者は、古い建物が倒れたり家具の下敷きになつて、怪我や命を落す人が多いんだ。



大地震が起きてても、この家は倒れたりしないの？



過去の地震による被害からも、建物の安全性を確認するのは大切だね。この家は古い建物だから、専門家に点検してもらって補強工事をしてあるよ。



それに、冷蔵庫・食器棚・テレビや電子レンジも、倒れたり落ちたりしないように固定してあるわよ。



大きな家具は、倒れて出口をふさいだり、避難のさまたげにもなるから、置く場所も工夫してあるよ。

建物の安全性を高める

耐震診断や補強工事、家具類の固定や配置の工夫など、自宅の安全性を高めましょう。



防災学習Point 03



心ちゃん。今、地震で「グラツと来たたら」どうするのかな？



テーブルの下に入って、揺れがおさまるまで動かないようにする。



そうだね。落ちてきた物にあたりたり、転んだりしないように「姿勢を低くして、頭を守り、動かない」ようにするんだよ。



お料理で火を使っていたら、消さないよ。火事になったら大変だから。



火を使っているときは、揺れがおさまってから、火の始末をするんだよ。あわてると、熱湯や高温の油で火傷をしたり、かえって危険だからね。

まずは身の安全を確保

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、まず身の安全を最優先に行動する。ガスは、大きな揺れを感じると、自動的に止まります。身の安全を確保したら、ドアを開けて出口を確保しましょう。

